

みんなの銭湯



外国人が日本に来て、楽しみにしていることはなんですか？ 日本料理を食べること、神社やお寺へ行くこと、新幹線に乗ることなど、色々体験したいことがあるでしょう。このほかに、温泉に入りたいという人もいます。しかし、日本では、タトゥーがある人は、温泉、銭湯、プール、海に入ることができない場合があります。

日本では、タトゥーに対して、悪い、マイナスのイメージがあります。その理由は、江戸時代（1603年～1868年）に悪いことをした人に罰としてタトゥーを入れたからです。その後、1872年に罰としてタトゥーを入れることが禁止され

ました。これで、罰としてタトゥーを入れることはなくなりました。ところが、1872年から1948年までは、タトゥーを入れること自体が法律で認められていませんでした。けれども、この間に、ヤクザ（悪いことをする人たち）はタトゥーを入れて法律を守りませんでした。自分のグループへ忠誠心を表し、自分を目立たせてほかの人を怖がらせるためです。1949年からは、タトゥーを入れることは法律違反にならなくなりました。しかし、罰としてのイメージや、法律で禁止されていたイメージから、日本ではタトゥーに悪いイメージが残っているのです。



東京にある「天然温泉 湯どんぶり栄湯」という銭湯は、タトゥーがある人も入ることができます。この銭湯には、下のポスターが貼ってあります。

このお店では、タトゥーがある人も入ることができます！

このお店を始めてから70年以上たちましたが、タトゥーのあるお客さんが問題を起こしたことは一度もありません。

しかし、時代に合わせて、タトゥーがあるお客さんを断るお店もあります。

このお店は、タトゥーがあるだけで、ルールを守らない、迷惑なお客さんだとは思いません。

しかし、タトゥーはどうしても目立ってしまうので、大きな声で話したり、長い時間裸でいたりするなど、他のお客さんが怖いと思うことをしないでください。

どうぞご協力よろしく申し上げます！

このお店の人は、「ここは、タトゥーがある人のための銭湯ではなく、タトゥーがある人もない人もみんなで入れる銭湯です」と言いました。みんなが気持ちよく銭湯に入れるように、タトゥーがあってもなくても、マナーを守らない人には注意をするそうです。人を外見で判断しないで、みんなに対して、少しマナーを厳しくしているのです。だから、このお店のお客さんはみんなマナーがいいそうです。

ファッション、自己表現、きずを隠すためなど、色々な理由でタトゥーを入れる人がいるでしょう。お客さんもお店の人も一緒にマナーを守る努力をしたら、みんなで銭湯を楽しめますね。

(1079 字)

(2021.6 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

(All pictures are drawn by Hinako FUJIMURA)

<参考資料>

- ・「DOTT」ウェブサイト 2019.3.23 付け Social 「タトゥーが OK の銭湯へ、真意を聞いてみた。／『刺青がどうではなく、結局は人』」

<https://do-tt.jp/social/irezumi-and-sento/>

- ・「All About 20th ビジネス・学習」ウェブサイト「タトゥー（入れ墨）はなぜ温泉で問題になる？禁止の理由」

<https://allabout.co.jp/gm/gc/444378/>

- ・「Carat Woman」ウェブサイト「ヤクザの刺青画像まとめ！ 図柄の意味や種類は？ 階級によって違う？」

<https://career-find.jp/archives/494041>

- ・「天然温泉湯どんぶり栄湯」ウェブサイト

<http://sakaeyu.com/>

(2021.6.30 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use

this work, please indicate the source as in the example above.